

人権理事会 来年度議長団を選出

2021/12/06

国連人権高等弁務官事務所

人権理事会は来年度の議長団を選出した。議長にアルゼンチンのジュネーブ国連大使である Federico Villegas さん、副議長に Katharina Stasch さん(ドイツ)、 Tamim Baiou さん(リビア)、Ulugbek Lapasov さん(ウズベキスタン、報告者を兼務)を選出した。残る一人の副議長は、1月に東欧グループから選出する予定である。今日の会合で理事会は、組織の活動方法の強化を目的とする、長期の効率化プロセスに関する議長声明を採択し、2019年の議長声明で述べられた、拡大されてきた活動の整備のための措置を1年延長することとした。また、2022年2月のハイレベルパネル討議のテーマについて、「後発開発途上国・小島嶼開発途上国の理事会の活動参加支援のための信託基金10周年を記念する、国連制度全体での人権の主流化への普遍的参加の貢献」とすると決定した。理事会は12月14・15日に会合し、アフガニスタン、ニカラグ、ウクライナについて高等弁務官の説明が行われる。